

## 総合計画策定審議会が後期計画案を答申

2月1日、つがる市総合計画策定審議会（野呂隆昌会長）が福島市長につがる市総合計画の後期基本計画案についての答申を行いました。

市ではこれまで市民アンケート調査を実施し、市民ニーズの変化等を把握。審議会では計3回に渡って後期基本計画案について審議を重ね、意見をまとめました。野呂会長は「慎重に審議を行いました。答申の趣旨を最大限尊重して後期計画を策定され、計画の着実な推進を図られるよう要望します」と福島市長に答申書を手渡しました。福島市長は「（答申を）最大限生かしてこれらの市政運営を進めていきたい」と話しました。

後期基本計画は、策定後、広報紙やホームページに概要を掲載する予定です。



福島市長に答申する野呂隆昌会長（右）

## 新体育館をお披露目 車力中学校体育館完成見学会



完成した車力中学校体育館

耐力度調査の結果、危険建物となっていた車力中学校体育館の改築工事が終了し、2月19日、20日、完成見学会が行われ、完成を心待ちにした市民が訪れました。

新しい体育館は、鉄骨造一部2階建てで総工費約4億円。延床面積は1,626.75m<sup>2</sup>で、これまでより大幅に広くなり、バリアフリー化や暖房設備など機能が向上し、教育環境が充実しました。

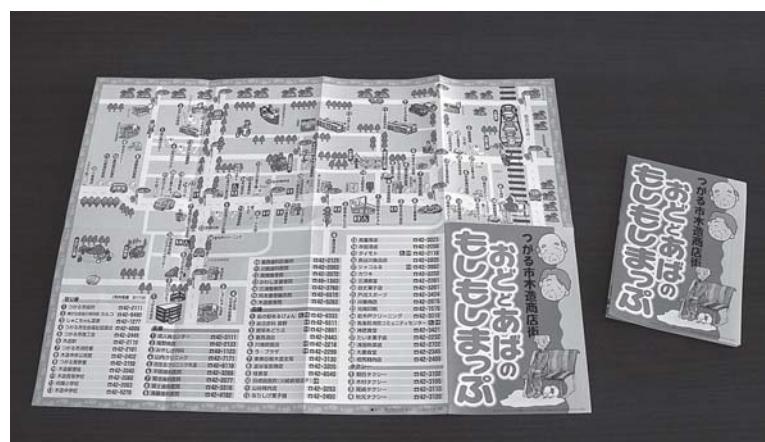
畠山寿美子校長は「とても快適。これまで手狭だった部活動ものびのびと活動できるようになった」と話していました。

## 木造中心市街地のマップが完成 街の駅「あるびょん」などで無料配布

特定非営利活動法人元気おたすけ隊（長谷川靖久代表）が赤い羽根共同募金の配分金を活用し、高齢者などの日常生活の支援を目的に作成してきた「おどどあばのもしもしまっぷ」がこのほど完成しました。

マップには、木造中心市街地の官公署、医療、商店、交通機関などがイラストで描かれており、それぞれの電話番号が掲載されています。また、8つに折りたたんでコンパクトに携帯できるハガキサイズとなっています。

マップは街の駅「あるびょん」、市商工会、市役所で無料配布しています。



折りたたんで携帯にも便利なマップ

## 安全運転の意識向上を図る 米軍関係者らが「雪道スリップ体験」

冬期間の安全運転の意識向上を図ろうと航空自衛隊車両分屯基地(中村泰三司令)で1月26日から2月4日の8日間、基地隊員及び米軍関係者らを対象に雪道スリップ体験などの交通安全講習が行われました。

講習では、つがる警察署の鹿内信行交通課長が雪道での運転のポイントについて説明。その後、雪の路面上で実車を使って8の字走行や急ブレーキ制動を行い雪道の危険性を体験しました。

車力通信所基地代表カービー・アトウェル大尉は「アメリカ南部出身の隊員にとっては特に良い体験となった。職員には雪道の危険性や安全運転について考えてもらい、交通事故をなくしたい」と話していました。



上) 安全運転講習に耳を傾ける 下) 実車運転で雪道の危険性を体験

## 日頃の練習の成果を披露 つがる市・西郡老人クラブ連合会芸能大会



息の合った踊りを披露する出演者

つがる市・西郡老人クラブ連合会芸能大会が1月27日、柏ふるさと交流センターで行われ、28組約90人がステージ上で日頃の練習の成果を披露しました。

大会は、高齢者の生きがいの高揚と相互交流を目的に約20年前から毎年開催されており、約300人が参加しました。

この日は、市老人クラブ連合会の盛武司会長が「芸能発表を通して会員同士で親睦を深めてください」とあいさつ。舞台では、そろいの衣装を身につけた出演者たちが生き生きとした表情で唄や踊りを披露し、観客から大きな拍手を受けていました。

## 寒さに負けず全力疾走 銀杏ヶ丘保育園で雪上かるた大会

楽しみながら冬の体力づくりをしようと銀杏ヶ丘保育園（稻葉俊二園長）で2月8日、21回目となる「雪上かるた大会」が行われました。

この日は、1歳から5歳の園児72人が参加し、園児たちは札が読み上げられると、園庭の雪山に並べられたアニメキャラクターの描かれている札めざして一斉に駆け出し、元気に札を取り合いました。札を探し当てた園児は「取ったー」「やったー」と取った札を高々と掲げて皆に見せていました。

札を取ることができた小笠原萌ちゃんは「とてもおもしろかった。かるたをとれてうれしかった」と喜んでいました。



雪山を駆け上がり札を取り合う園児たち